

事業名	動物愛護管理指導費		調書番号	56
細事業名	動物愛護管理事業費	財務コード	0884	
担当部課室	福祉保健 部 衛生業務 課 食品衛生・動物愛護 担当 (内線)	3457		

I 事業の概要

実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)、補助(山梨県獣医師会)
目的	だれ(何)を対象に 県民 その対象をどのような状態にして 動物愛護デーを開催し、動物愛護の意識及び動物の健康等ついて理解を深める。 結果、何に結びつけるのか 動物愛護の意識の高揚と動物の健康及び安全の保持を図る。
内容	○補助事業:動物愛護の意識の高揚と動物の健康及び安全の保持を図る事業 補助先:(社)山梨県獣医師会 補助金額:定率1/2(上限700千円) ・動物愛護週間に動物愛護デーの開催:平成29年9月23日、昭和町総合会館(式典)昭和町総合体育館(イベント) ・動物愛護デー開催内容:一日獣医師体験、犬・猫無料健康診断、長寿犬表彰、動物愛護図画コンクール表彰、ポニー乗馬体験、動物ふれあい教室等 *主催:県、獣医師会、(後援として、教育委員会、市長会、町村会) ○県(直営)事業:関東甲信越静地区狂犬病・動物愛護管理業務連絡会議(H30神奈川県)

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	・動物愛護デーの開催	目標	1	1	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1	1	1
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	・動物愛護デー来場者数	目標	1,187	1,187	1,187	1,187	1,187	1,187
		実績(見込)	1,276	1,214	1,140	1,441	857	534
		達成率	107.5	102.3	96.0	121.4	72.2	44.9
		達成区分	b	b	b	a	c	c
決算(予算)単位:千円		577	700	592	663	679	711	711

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価 動物愛護デーのイベントを計画し、動物愛護週間に(9月20日~26日)に、1日間開催した。 動物愛護デーのイベントを行うことによって、動物愛護思想の推進及び動物の健康・安全の保持貢献に繋がっている。小学生が動物愛護について考えるきっかけとなることを想定した動物愛護図画コンクール、動物の愛護・管理の重要性を周知するための長寿犬表彰などを実施し、意図した成果はほぼ上げている。
成果指標	b	

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	規模が大きいイベントであり、準備等に時間がかかるため、例年1回のみ開催が妥当であることから、これ以上の成果向上は望めない。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	動物愛護及び管理に関する法律で動物愛護週間が定められており、その週間に動物愛護デーを実施している。この事業において動物愛護の意識及び動物の健康等の適正な飼養についての理解と感心を深めるためには、獣医師会の協力と獣医師の専門的知識が必要不可欠であり、また、来場者から好評的な意見や要望が多い事業であるため、見直しの必要はなし。
見直しの必要性	無	本イベントにより、動物愛護思想の普及における一定の成果を上げているため、見直しの必要はない。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。